

海賊法案 参院審議入り

民主 風間氏 事前承認へ修正要求

政府、与党が重要法案と位置付けるソマリア沖などの海賊対策で随時自衛隊派遣を可能にする海賊対処法案が二十七日、

参院本会議で審議入りした。野党が採決に応じなくても、国会の会期を延長すれば、今国会で成立する公算だ。

法案は国会の関与について、首相の自衛隊派遣承認時と活動終了後に国会報告すると規定。民主党は衆院で国会事前承認に改めるよう求めたが、修正協議は決裂した。

本会議で民主党を代表して質問に立った風間直樹参院議員は「国会事前承認の規定を参院で特に検討することで、二院制の意義が発揮される」と訴えた。

これに対し麻生太郎首相は「海賊行為への対処は警察活動であり、海上

警備行動と同様に事前承認規定を設けなかった」と、法案修正に含みを残した。本会議で初めて質問に立った風間氏は終了後、「法案修正に、もう少し前向きな答弁をしてほしかった」と振り返った。